

鳥取市人口ビジョン骨子（案）

1 人口の現状分析

☆鳥取市の総人口は2005年の201,740人をピークに人口は減少の一途をたどり2010年の国勢調査では197,449人と、すでに本格的な人口減少局面を迎えている。

☆1人の女性が一生に産む子どもの平均数である合計特殊出生率は2013年で1.55と鳥取県全体の水準を下回り、低出生率の状態を継続している。

☆社会的増減は2005年以降10年連続で、転出が転入を超過する社会減の状態を継続している。

☆近年の年齢階層別人口移動は大学進学時等を含む15～19歳をはじめ、就職時以降の20～24歳、25～29歳、30～34歳、35～39歳の各階級において転出超過となっている

2 将来人口の推計

☆国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計によれば、2010年の国勢調査時の197,449人の人口は、今後急速に減少を続け、2040年には156,135人（約21%減少）、2060年には119,998人（約39%減少）となる見込みである。

☆15～64歳の生産年齢人口はその構成比が2010年の63.1%から2040年には52.6%まで減少し、65歳以上の高齢者人口は23.2%から36.7%へと大幅に増加する見込みである。



3 人口の将来展望

《人口増加に向けた新たな目標設定》

☆合計特殊出生率1.55（2013年）が2020年に1.8（国目標より10年前倒し）に、2030年には2.07（人口置換値）に上昇するケースを仮定。

☆今後10年をかけた移動率を約0.5倍に逡減し、その後一定すると仮定。

※社人研・鳥取県推計準拠

目標	2040年：165,639人
人口	2060年：139,077人

《政策の基本目標》

- I 次世代の鳥取市を担う‘ひとづくり’
- II 誰もが活躍できる‘しごとづくり’
- III 賑わいにあふれ安心して暮らせる‘まちづくり’

「鳥取市総合戦略」に基づく政策の加速・前進